

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2011年09月30日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2010000028"/> 整理番号 <input type="text" value="11520"/> 担当者 <input type="text" value="峯崎 隆司"/>
表 題	DMSOによるカイコ休眠卵の人工孵化法および卵内への化学物質導入法
技術分野	<input type="text" value="生活・文化"/> <input type="text" value="化学・薬品"/>
適用製品	カイコ休眠打破溶液, カイコ卵を使った化学物質のバイオアッセイ試薬など
目 的	カイコ休眠卵の休眠打破を塩酸やホルマリンなどの危険薬品を使用しないで, 安価なジメチルスルホキシド(DMSO)を用いて安全で手軽に行えるようにした事が本発明の一番の目的である。また, 同時にDMSOに化学物質を混ぜて同様に処理すると, 休眠打破と同時にその薬品を卵内へ導入させる事も可能にした。
技術概要	産卵後24時間以内のカイコ休眠卵を市販のDMSO(100%溶液)に浸し, 水洗し, 乾燥させ, その卵を25℃に保護し孵化させる。これを行うには特別な技術を必要とせず, 初心者でもすぐに出来, 極めて簡単, 迅速, 安全な方法である。また, DMSOは安価な試薬であり, 劇薬であるホルマリンや塩酸を用いる従来法と異なり安全でもあるので危険対策等の必要はなく非常に低コストで行える。更に, DMSOは溶媒としても汎用性が広く, 本発明の人工孵化方法において, DMSOに化学物質を溶解させることにより, カイコ卵中に化学物質を導入させる事も可能である。 従って, カイコ卵を用いた化学物質の生体に対する安全性評価や基礎研究におけるバイオアッセイに利用できる。これを実施する場合においても特別な施設や装置を必要としないので, 低コストで行える。

技術移転等をご希望の場合は, 下記事項をご記入の上, 本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>
会社名	<input type="text"/>
所 属	<input type="text"/> 役職 <input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/> FAX番号 <input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>
連絡事項	<input type="text"/>



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp